

コンプライアンス宣言

株式会社マルミツサンヨーは、『コンプライアンス行動規範』に沿って、法令遵守、社会常識および企業倫理などを重視した体制作りと活動により、社会に貢献できる企業となることを宣言いたします。

2019年9月12日

株式会社 マルミツサンヨー
代表取締役社長 筒井 宣雄

コンプライアンス行動規範

株式会社マルミツサンヨーは、人権の尊重、法令・国際ルールへの遵守はもとより、高い倫理観を持った事業活動を通じて、社会の持続可能な発展に貢献いたします。

また、コンプライアンス宣言を確実に実行するため、下記の通り行動規範を定めます。

1.法令の遵守

あらゆる企業活動の場において、法令を遵守し、社会倫理に適合した良識ある活動を行います。

2.人権の尊重

各人の人権を尊重するとともに、人種・民族・宗教・国籍・社会的身分・性別・年齢・障がいの有無などによる差別を排除します。

3.従業員の就業環境整備

従業員の多様性・人格・個性を尊重し、公平な処遇を実現するとともに、それぞれの能力・活力を発揮できるような安全で働きやすい職場環境をつくりま

4.顧客・消費者からの信頼獲得

顧客・消費者のニーズにかなう商品・サービスとそれらに関する正しい情報を提供するとともに、顧客情報等を適切に保護・管理します。

あわせて顧客・消費者の声を真摯に受け止め、適正に対応することで顧客・消費者の信頼を獲得します。

5.取引先との相互発展

公正なルールに則った取引関係を築き、円滑な意思疎通により取引先との信頼関係を確立し、相互の発展を図ります。

6. 地域との共存

地域の健全な発展と快適で安全・安心な生活に資する活動に積極的に参加・協力し、地域との共存を目指します。

7. 株主・資金提供者の理解と支持

公正かつ透明性の高い企業経営により、株主や事業資金の提供者の理解と支持を得ます。

8. 政治・行政との健全な関係

政治・行政とは健全かつ透明な関係を維持し、癒着を絶ち、公正に活動いたします。

9. 反社会的勢力への対処

社会秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力・団体に対しては、毅然とした態度で対処し、一切の関係を遮断します。

2019年8月31日制定

コンプライアンス行動規範遵守のための手引き

1. 法令遵守

全ての法令を遵守することはもとより、食品に関する以下の法令については、改正などの情報取捨を確実にいき、適切に対応する。

- ① 食品衛生法
- ② 日本農林規格（JAS 法）
- ③ 不当景品類及び不当表示防止法
- ④ その他食品に関する法令、規格、ガイドランなど

2. 人権の尊重

ハローワーク主催の企業内同和推進協議会に一名以上参加し、社内で人権に関する啓発活動を行うことで、全社員が人権尊重の意識を持つようにする。

3. 従業員の就業環境の整備

- ① 月一回開催の労働安全委員会の中で行なっている安全パトロールにより、従業員に対して不都合のある箇所を洗い出し、優先順位を付けて改善活動を行う。
- ② 従業員からの聞き取り調査や、ストレスチェックを行い、必要に応じて面談及び改善を実施する。

4. 顧客・消費者からの信頼獲得

- ① 提供する食品の安全性と品質を確保するマネジメントシステム（ISO9001）等を整備する。
- ② HACCP に対応することで、より安心安全な食品の提供を目指す。
- ③ 顧客・消費者からの要望や苦情には真摯に対応し、常に改善することで信頼を維持する。

5. 取引先との相互発展

一方的に要求することなく、仕入先に対しても密に連絡、交渉、情報交換を行うことで信頼関係を築き、お互い納得のいく継続的な取引を目指す。

6. 地域との共存

- ① 原料として地場産特産品を使用することで、地場の農林水産及び畜産業の発展に寄与する。
- ② 会社を永続的に継続することで、地場の働く場所を維持し、地方の人口流出抑制の一翼を担う。
- ③ 地域の活動にも積極的に参加し、地域発展に協力する。

7. 株主・資金提供者の理解と支持

- ① 適正な利益を出すことで、株主・資金提供者の支持を得る。
- ② 株主・資金提供者より求められた場合は可能な限り情報を提供するとともに、理解を得られるように説明責任を果たす。

8. 政治・行政との健全な関係

株式会社マルミツサンヨーの役員および従業員が国の内外を問わず、公務員ほか利害関係人に対し、直接、間接を問わず、国内外の諸法令に反する贈賄行為を行うことを禁止する。

9. 反社会的勢力への対処

反社会的勢力とは、総会屋、暴力団やフロント企業（暴力団や暴力団と親交のある者が、その背景を隠して経営する企業）、エセ同和行為を行う者などを言う。

反社会的勢力と係わることは、反社会的行為を支援・助長することになり、社会正義に反する。

その結果、会社の利益や信用を著しく損ないかねないので、絶対に係らない。